

一般財団法人 全国大学実務教育協会 会報

第2号
DECEMBER 2009

CONTENTS

今、本協会の資格プログラムが新たなステージへ	2
学士力と社会人基礎力を	3
大人になること	4
平成20年度 会長賞受賞者紹介 (No.2)	5
資格取得卒業生の声	6・7
協会からのお知らせ	8

JAUCB 一般財団法人 全国大学実務教育協会
Japan Association of University and College for Business Education

〒102-0074 東京都千代田区九段南4-2-12
第三東郷パークビル二階
TEL:03-5226-7288 FAX:03-3263-8633
E-mail:jaucb@jaucb.gr.jp
PC:http://www.jaucb.gr.jp
携帯:http://www.jaucb.gr.jp/mobi



今、本協会の資格プログラムが
新たなステージへ

今、本協会の資格プログラムが新たなステージへ



一般財団法人 全国大学実務教育協会 代表理事・副会長
福島学院 理事長 菅野 英孝

1. 本協会の資格は学生への履修証明プログラムです。

平成19年12月施行の改正教育法で、新たに「履修証明プログラム」制度が設けられました。これは当時の安倍首相が、ニート、フリーター等の非正規就業者や企業倒産による失業者が増大する中で、成長分野、人手不足分野へと就業構造を転換していくために、職業教育に積極的な役割を果たすよう大学に求めたものでした。大学の持てる力を社会人の学び直しやキャリアアップにも活用しようとする施策です。

この履修証明プログラムは1960年代からアメリカやカナダのコミュニティカレッジでは「サーティフィケート」（証明書）コースとして1年間あるいは半年間で取得できるシステムを導入しています。大学の「学位」に比べて、より短期間で技能を取得することができるのが、そのメリットです。修了者には学校教育法に基づき大学から履修証明書が交付される制度です。

しかしながらこの制度のシステムは、和野内会長が本協会の前身の協会を創設した36年前から取り組んできた資格取得プログラムそのものでもあります。

もちろんこの資格プログラムは社

会人にも開放されており、認定校の学長が社会人の履修を認めることができるようになっており、また大学以外の施設で、つまりニーズのある場所や街なかで授業や公開講座が開設できるよう便宜が図られています。本協会の資格プログラムはまさに証明書プログラムそのものです。

2. 本協会の資格はまた学位プログラムそのものです。

今、中央教育審議会で「中長期的な大学教育の在り方について」の検討が進んでいます。「多様なニーズに対応する大学教育を実現するための『学位プログラム』を中心とする大学制度及びその教育の再構成」の検討もその一つです。

学位プログラムとは余り馴染みある言葉ではありませんが、学問分野毎に合わせた現在の学部・学科制と、それに伴う学問分野の学位名称に替えて、限定された分野、領域別の「学位プログラム」を中心とした仕組みとすることなのだそうです。つまりは学生が「達成すべき能力」を修得できるよう体系的に設計するものであるとのことですが、伝統的な学部学科の壁をどう乗り越えるのか、実現は簡単ではなさそうです。たぶん筑波大学のような学群、学類といった教育のシステムに近い発想ではないかと思えます。いずれにしても本協会の資格プログラムはまさに学位プロ

ラムでもあります。

環境マネジメント実務士、観光ビジネス実務士、カウンセリング実務士、秘書士、ウェブデザイン実務士等々の資格は、学生が何ができるのかの到達目標を示したものでもあるわけです。

もちろん現在の学部・学科制の中でも、サブ・メジャーあるいはダブルメジャーとしての利用価値も充分あるものと考えます。

3. キャリアアップのために新しい制度を検討中

今、新設の検定事業部においては、本協会の古くからの認定資格である秘書士やビジネス実務士、そしてプレゼンテーション実務士の資格を取得して、実社会でその実践を行っている社会人に対して、キャリアアップを図るための検定事業を構想中です。現在の社会そして企業では人間関係構築力を高めるマナー教育、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力が求められています。こうした指導者育成のためのインストラクター制度を創設すべく検討を行っております。

会員校の皆様からもご意見をいただきながら、本協会も新たなステージに立ちうる人材の育成ができるよう、努めて参りたいと思います。

学士力と社会人基礎力を



一般財団法人 全国大学実務教育協会 評議員

鹿児島純心女子大学・短期大学 学長 稲井 道子

1 高等教育における短期大学の役割

短期大学は、戦後の学制改革以来女子の高等教育機関として人気が高かったが、女子の短期大学への進学率は、平成6年の24.9%をピークに年々減少し、平成20年は11.5%まで落ち込んだ。その一方で、女子の4年制大学への進学率は、平成20年は過去最高の42.6%を記録した。このように従来ならば短期大学へ進んでいた女子生徒の高学歴志向や少子化に伴い、短期高等教育機関を取り巻く社会環境は厳しさを増すばかりである。

しかし、社会情勢の急激な変化に対応し、豊かな経済基盤を形成する上で、社会発展に寄与する優秀な人材の育成に高等教育の役割は不可欠である。平成17年中央教育審議会答申の「将来像答申」では、短期大学の課程における機能を①教養と実務が結合した専門的職業教育②より豊かな社会生活の実現を視野に入れた教養や高度な資格取得のための教育を求めている。

本学では、キリスト教ヒューマニズムに基づく「全人教育」を建学の理念とし、社会の発展と人類の幸福に貢献できる「豊かな人間性」と「高度の専門性」を備えた実践的教養人としての指導的女性の育成に努め、昭和35年開学以来、14,000人を越える学生を社会に送り出してきた。

幅広い教養教育と、専門教育及び実践的な技能を取得できる職業教育によって、広く社会に即戦力を提供できる。このような使命を短期大学が担っていると考えると、今後は社会からの信頼に応えるべく多様な展開が必要である。

2 実務教育の担い手として

短期大学はその果たすべき役割に積極的に取り組むために、実務教育の担い手として質の高い創造的知的生産者、つまり課題発見・解決能力、主体性、分析力、対応力などを備えた人材を育成しなければならない。経済産業省は「社会人基礎力」を提唱し、新卒者に対して最低限の能力資質を求めている。その背景には、「大学全入時代」の到来で、基礎学力が低い学生や、人間力に乏しい学生をそのまま社会に送り出してしまった現実がある。文部科学省が掲げる「学士力」と経済産業省の求める「社会人基礎力」を関連づけて有機的に学ばせていくことは、決して容易なことではないが、短期大学教育の特徴を活かすと今後発展の可能性はある。

本学も職業教育を意識し、時代の動向に合わせた実務教育を早い段階から導入してきた。現在取得できる資格は「秘書士（メディカル秘書、国際秘書）」「上級秘書士」「ビジネス実務士」「情報処理士」「プレゼンテーション実務士」で学生の取得率も非常に高い。このことは短期大学に入学する学生は、資格取得に対してモチベーションが高く、入学当初より職業意識も強いと言える。さらに、少人数教育により、正課あるいは正課外で丁寧かつきめ細やかな指導ができる。教師と学生あるいは学生同士の親密度も高く、全人教育を浸透させることができる。短期大学の特性を挙げることができる。短期大学教育における教養教育と専門教育をバランスよく深化させながら、社会のニーズに応える人材を育成するための具体的方策を各大学の特色を活かしながら探ることで、今後の展開が見えてくるであろう。

3 実務能力の展開へ

本学卒業生の就職先および職種を見てみると、専門職業能力を活かした特定分野はもちろん、多種多様な業種および職種に及んでいる。これは短期大学教育が、どの産業においても通用する、応用範囲の広い職業教育の機能を果たしていると言える。また同時にいずれの職種にも活用できる汎用的実務能力の育成も短期大学の重要な役割と捉えられている。そのためには、雇用形態の多様化、雇用情勢の悪化など経済界を取り巻く環境が一変した昨今、企業が学生にどのような資質や能力を求めているか企業のニーズを正確に把握しなければならない。そして、短期大学の教育機能を十分に発揮し、人間性を育成し、社会性を高め、実務力を強化しながら地域が求める有為な人材育成に努めていかなければならない。

本学では、平成21年度文部科学省の学生支援推進プログラムに「地元企業との連携と学生の学習力・行動力を支援する組織の強化策」が採択された。地域社会と密接に関わり、地元企業との連携を深めながら、教育ニーズを把握し教育課程に地域の意見を柔軟に取り入れることを目指している。そして学生の具体的な職業観を養いながら、短期大学士としての専門的知識・技能と全人的教養を十分身につけて将来地域社会の発展のために貢献できる人材を育成していきたい。

今後高等教育における実務教育の重要性が高まるにつれ、短期大学に課せられた責務はますます重くなる。「21世紀型市民」を育成するにふさわしい高等教育機関としての機能を最大限に発揮できるようさらなる努力を重ねていきたいと考えている。

大人になること



一般財団法人 全国大学実務教育協会 理事

ブール学院大学短期大学部 学長 井上 修一

昨今は大人になることが難しい時代だと言われている。本当にその通りだと思う。大学に入ってくる若者たちは押しなべてまことに幼い。それどころか、保護者達も大人になり切れていない。いや、そう言う私自身が、還暦をとうに過ぎてはいるのに、父親の世代と比べると大人になっていないような気がする。日本では高齢者は増えているが、大人は急速に減って行っているのではないだろうか。

以前から、西欧諸国に比べると日本には本当の大人が少ないように思っている。子供の頃から早く一人前になることを求められる西欧文化と、親に十分に甘やかされる日本との違いかもしれない。この子供教育の日欧の違いは、文化論などではよく指摘されている。

ところで、大人になるとはどういうことであろうか。そもそも、大人になる必要が本当にあるのだろうか。たしかにサラリーマンとしての出世の階段を上って行くには、それなりに大人になっていた方が都合がよさそうである。しかし、実は男も女も大人になるには時間が掛かる。作家の石田衣良が作中人物に「私たちは結婚して、離婚して、さんざん泣いてから、ようやく大人になれるのではないか」と述懐させていたが、同感である。やはり作家の丹羽文雄はほぼ同じことを、「恥を重ねた末に一人前になる」と語っている。

15年ほど前の話になるが、学生の恋愛談義に付きあっていたとき院生の女性が、「革命が起きて価値観が一変し、自分が信じて積み上げてきた知識や能力、判断基準のすべて否定されたとき、狼狽えて首を吊るような男はいや」と言ったことがあった。小説『風と共に去りぬ』がいつまでも読まれる理由が分かるような気がする。激変の社会を力強く生き抜くレッド・バターは大人の男の理想像なのである。また、フランスの俳優ジャン・ギャバンが演じてみたい役柄に「失恋男」の役を挙げたとき、新聞記者が「自殺するのですか」と聴くと、「とんでもない、失恋を糧に生きていくのです」と答えた。この失恋男も、味のある大人になることだろう。

その一方で、社会人としての常識や責任感、倫理観さえ備えていれば、子供のままでいても少しも困らないのではないかとも思う。たとえば趣味なども、たいがい子供時代に始まって、そのまま一生続いている。プライベートな生活においては子供でいる方が楽しそうである。

芸術家、ことに詩人などには子供の目や心を持った人が多いように思う。好奇心の強い早熟な少年が早熟のままできるといった感じである。人間としては大人になって円熟するのも悪くはないが、新しい感覚を求める芸術家にとって円熟はむしろ有害となる。円熟は完成度を高めるが、新しいものを生み出すには不向きである。新しい発想は多くの場合、未熟さの中から生まれてくる。

今の大学生は幼いが、昔の学生に比べて公德心に劣るとも一概には言えない。漱石の『三四郎』で、主人公が熊本から列車で上京する冒頭部分に、食べ終えた経木の弁当箱を窓から外に捨てるシーンがある。時代が違えば公德の内容も違うが、学生とこの小説を読むと、いつもここが問題になる。

もし、大人になることが欠点の克服であったら、大人にならなくてもよい。人の魅力を作っているものは、往々にしてその人の欠点の方である。長所は役には立つが、魅力になりにくい。欠点をすべて克服した完璧な人間は尊敬の対象ではあるが、あまり友達にはなりたくない。面白くなさそうだからである。

私の好きな言葉に「人間は少年少女時代を過ごすために生まれてくるのです」というものがある。漫画家の水木しげるの言葉である。親から虐待を受けて死んだ子供の新聞記事に寄せられていた評言の中であったと思う。すばらしい言葉である。たしかに、少年少女時代に匹敵する大切な時は他にない。私たちは少年少女時代や思春期に味わった思いや体験をなぞりながら、その後の人生を生きている。したがって少年少女時代は、長ければ長いほどよいのである。大人になるのを焦る必要はない。どうせ人間は、何らかの形で必ず大人になっていく。そして、大人にならないと分からないことは多いが、大人になると見えなくなってしまうこともまた多いのである。

平成20年度 会長賞受賞者紹介 (No.2)

No.	資格名	大学名	学部・学科名	氏名	No.	資格名	大学名	学部・学科名	氏名
1	上級 ビジネス 実務士	大阪国際大学	人間科学部	張 建輝	45	ビジネス 実務士	東筑紫短期大学	美容ファッションビジネス学科	田中 佑季
2		安田女子大学	現代ビジネス学部	松田 侑子	46		宮崎学園短期大学	人間文化学科	富窪 姫世
3		四国大学	経営情報学部	岡崎 裕紀	47		鹿児島純心女子短期大学	英語科	南園 由実
4		沖縄国際大学	産業情報学部	石原可奈子	48		鹿児島女子短期大学	教養学科	俵積田美里
5		常磐短期大学	キャリア教養学科	石川 朝美	49		沖縄女子短期大学	総合ビジネス学科	甲斐あゆみ
6		富山短期大学	経営情報学科	中橋 由恵	50		近畿大学	経営学部	中畑 愛
7		中国短期大学	情報ビジネス学科	新垣小百合	51		近畿大学	経済学部	柿木美友紀
8	上級 秘書 士	帝京大学	経済学部	張 増文	52	常磐短期大学	キャリア教養学科	内田彩也香	
9		四天王寺大学	人文社会学部	葛井 千夏	53	近畿大学短期大学部	商経科	生駒 仁見	
10		札幌国際大学短期大学部	英語コミュニケーション学科	富澤 茜	54	プール学院大学短期大学部	秘書科	木村 仁美	
11		拓殖大学北海道短期大学	経営経済科	岡 慎吾	55	安田女子短期大学	秘書科	西村 里紗	
12		聖和学園短期大学	キャリア開発総合学科	小野寺 香	56	四国大学短期大学部	ビジネス・コミュニケーション科	宮本さおり	
13		山形短期大学	総合文化学科	玄 智媛	57	高松短期大学	秘書科	山尾 香織	
14		桜の聖母短期大学	英語学科	島軒利江子	58	松山東雲短期大学	秘書科	山下えりか	
15		桜の聖母短期大学	生活科学科	高橋 侑貴	59	札幌国際大学	現代社会学部	市川 麗	
16		福島学院大学短期大学部	情報ビジネス科	近藤さつき	60	札幌国際大学短期大学部	総合生活学科	金山 鈴華	
17		佐野短期大学	経営情報科	篠崎 真里	61	自由が丘産能短期大学	能率科	相馬 有希	
18		自由が丘産能短期大学	能率科	永井 美帆	62	目白大学短期大学部	生活科学科	齋藤 綾花	
19		東京成徳短期大学	ビジネス心理科	板澤かおり	63	鎌倉女子大学短期大学部	初等教育学科	乗越 安奈	
20		湘北短期大学	総合ビジネス学科	山崎 愛	64	横浜創英短期大学	情報学科	梶尾美奈実	
21		ビ ジ ネ ス 実 務 士	新潟青陵大学短期大学部	人間総合学科	椋沢 緑	65	岡崎女子短期大学	経営実務科	伊藤 加織
22	富山短期大学		経営情報学科	安達 静香	66	名古屋女子大学短期大学部	生活学科	佐藤かすみ	
23	仁愛女子短期大学		生活科学学科	富田陽志江	67	滋賀短期大学	ビジネスコミュニケーション学科	福田 賀名	
24	清泉女学院短期大学		国際コミュニケーション科	割田有梨子	68	大阪国際大学短期大学部	家政科	前 亜珠沙	
25	愛知学泉短期大学		生活デザイン総合学科	高橋ひとみ	69	大阪成蹊短期大学	観光学科	永瀬 憲司	
26	岡崎女子短期大学		経営実務科	下川部増美	70	関西外国語大学短期大学部	英米語学科	小中ちゆき	
27	豊橋創造大学短期大学部		キャリアプランニング科	西村 静香	71	関西外国語大学短期大学部	国際コミュニケーション学科	澤田 恵那	
28	高田短期大学		オフィス情報学科	近藤ひろみ	72	関西女子短期大学	保健科	松尾 裕子	
29	京都光華女子大学短期大学部		ライフデザイン学科	山下 愛	73	四天王寺大学短期大学部	英語科	尾上 志歩	
30	大阪キリスト教短期大学		国際教養学科	堀川 晴世	74	神戸松蔭女子学院大学短期大学部	英語コミュニケーション学科	稲垣 公子	
31	大阪国際大学短期大学部		国際文化学科	田中 梨沙	75	神戸女子短期大学	総合生活学科	三谷 美幸	
32	大阪成蹊短期大学		経営会計学科	葛和 由衣	76	和歌山信愛女子短期大学	生活文化学科	藪内 彩季	
33	四條畷学園短期大学		ライフデザイン総合学科	貞方 歩文	77	就実短期大学	生活科学科	岡崎 望美	
34	四天王寺大学短期大学部		生活科学科	酒井恵梨香	78	就実短期大学	文化コミュニケーション学科	晝田 晴美	
35	大手前短期大学	ライフデザイン総合学科	常井 瞳	79	比治山大学短期大学部	総合生活デザイン学科	山口 茜		
36	鳥取短期大学	国際文化交流学科	小山 霞	80	精華女子短期大学	生活科学科	八木 友子		
37	鳥取短期大学	生活学科	廣江 香織	81	長崎女子短期大学	生活科学科	竹田 愛		
38	山陽学園短期大学	キャリアデザイン学科	近藤 恵美	82	南九州短期大学	国際教養学科	吉海 智子		
39	中国短期大学	英語コミュニケーション学科	安倍 唯	83	沖縄女子短期大学	総合ビジネス学科	村上 千尋		
40	比治山大学短期大学部	総合生活デザイン学科	中野 恵美	84	大分県立芸術文化短期大学	情報コミュニケーション学科	伊東 琴美		
41	四国大学短期大学部	ビジネス・コミュニケーション科	別宮 飛鳥	85	神戸松蔭女子学院大学	文学部	田中 侑衣		
42	香蘭女子短期大学	ライフプランニング総合学科	郷良有樹美	86	自由が丘産能短期大学	能率科	菅原 静夏		
43	精華女子短期大学	生活科学科	上米良友香	87	名古屋学芸大学短期大学部	現代総合学科	村田 早耶		
44	筑紫学園大学短期大学部	現代教養学科	大津みさと	88	松山東雲短期大学	秘書科	永岡 洋美		

大学名、学部・学科名は平成21年3月31日現在である。

資格取得卒業生の声

上級情報処理士

西原さんは平成18年4月から「明光学園中学校・高等学校」（福岡県大牟田市）に教員として勤務され、「情報A」の科目を担当されています。女子教育を行う「明光学園中学校・高等学校」は、カトリックの精神にもとづく全人格教育を教育方針に掲げている学園です。

学校に訪ね、上司である教科主任の南治啓一先生とともにインタビューに応じていただきました。



久留米大学文学部 情報社会学科
平成17年度卒業

西原 里沙さん

Q：大学で「上級情報処理士」を取得した動機は。

A：大学2年生から「情報」の教職を目指したので、情報関係の様々な資格を取得することが、仕事上でも有利になると考えました。

Q：現在の仕事をする上で、「上級情報処理士」資格取得はどのように役立っていますか。

A：本学では「情報」の教員は私1名です。検定対策やネットワークの管理も担当しています。幅広い学習が大いに役立ったと思います。

Q：「上級情報処理士」の科目の中で特に役立っている科目はありますか。

A：課程認定の資格であるため、定められた分野は情報の技術的なものだけでなく、5つの分野を学ぶことで、幅広い知識が得られたことは、大変役立ったと思います。特に「ネットワーク関連科目」は苦手であったため、資格取得を目指さなければ学習しなかったと思います。しかし、この科目を取得したことは、学校のネットワークの管理をする上でも不可欠であったため、良かったと感じています。

Q：「上級情報処理士」の科目で、なお不足している分野はありますか。また、すでに学んだ「上級情報処理士」の教育課程に希望はありますか。

A：不足しているとは思いませんが、私が教員として、高校生を教えている立場からですと、「情報モラル」

に関連する科目は特に重要だと考えます。教育現場において、ネット犯罪、ネットいじめは避けて通れない状況です。日本のみならず、世界的にも大きな問題になっていますが、その事柄を生徒にしっかり教育する必要があります。情報の専門家には重要な分野だと考えます。

Q：将来目標とするものがありましたら、教えてください。

A：教え子が情報処理に関する力をつけて、様々な分野で活躍することを目標にしっかり教育していきたいと思っています。

上司である教科主任の南治啓一先生のコメント

情報の専門の教員が来てくれたので、大変心強く、有り難く思っています。大変な努力家で様々な情報関連の検定前には、生徒に朝は8時からの練習、放課後の練習を行っています。たぶん、朝は6時前に起きるのではないのでしょうか。また、「クワイアチャイム」（ハンドベルの一種）のクラブ顧問をしていて、クリスマスや病院の慰問に活躍しています。本人が、中学、高校と吹奏楽を続けていたので、心強い顧問です。

授業時間の合間を縫ってのお忙しい時間をいただき、ありがとうございました。ますますのご活躍をお祈りいたします。

（油谷純子記）

観光ビジネス実務士

安井さゆりさんは平成21年4月から「京王プラザホテル札幌」宴会料飲部宴会料飲サービス担当に勤務されています。

宴会料飲部に訪ね、上司である支配人の福永謙二様とともにインタビューに応じていただきました。



札幌国際大学観光学部 観光学科
平成20年度卒業

安井さゆりさん

Q：大学で「観光ビジネス実務士」を取得した動機は。

A：所属学部が観光学部であったことはもちろんですが、大学在学中からホテル（京王プラザホテル）のレストランでアルバイトを4年間しておりました。ホテル関係に就職の希望をもっていましたので、「観光ビジネス実務士」を取得しました。

Q：現在の仕事をする上で「観光ビジネス実務士」はどのように役立っていますか。

A：「サービス」については知っていたつもりでしたが、「サービス」の概念を含むもっと広く深い「ホスピタリティ」等について、体系的に学ぶことができたことは、仕事上で有益であったと思います。

Q：「観光ビジネス実務士」の科目の中で特に役立っている科目はありますか。

A：「サービスの心理学」「ホテルサービス実務」「ホテル演習」の科目です。「ホテルサービス実務」は、ホテル、旅館で働いている人を招いての講義であり、現場を知ることができ、興味深いものでした。また、「ホテル演習」においては1年次生の冬に「ザ・ウインザーホテル洞爺」で実習を行いました。また、2年次生の冬には「インターンシップ」として北海道でも由緒ある旅館の「あかん鶴雅」でも実習を経験しました。この経験が現在の仕事に役立っています。

Q：「観光ビジネス実務士」の科目で、なお不足している分野はありますか。また、すでに学んだ教育課程に希望はありますか。

A：観光を訪れる人々が多様化してきています。高齢者、障害を持った人等が以前より多くホテル、旅館に宿泊されます。「介護に関連する科目」や「高齢者理解に関する科目」等があれば、より充実するのではないのでしょうか。

また、例えば「旅行英会話」などは旅行者を対象としたシラバスになっていますが、サービスを受ける側ではなく、提供する側からのものにとよりよいと考えます。

Q：将来目標とするものがありましたら、教えてください。

A：レストランを経営したいと思っています。大好きなレストランがあります。東京青山にあるレストラン「Casita」にあこがれています。おもてなしの心が素晴らしいレストラン経営を目指したいです。

上司である支配人の福永謙二様のコメント

4年間のアルバイトでよく知っていましたが、明るく、努力家で職場でも周りを元気にしてくれています。レストラン部門と宴会料飲部門とのサービスの違いではじめは戸惑いもあったようですが、経験を生かしてより深いサービスを実践してくれています。

ホテルの忙しさの中で、インタビューを丁寧に受けてくださりまして、ありがとうございました。レストラン開業を目指してのご活躍をお祈りいたします。

(油谷純子記)

協会からのお知らせ

◆平成22年度新規入会及び 新規教育課程認定等の申請期限◆

平成22年度の新規入会及び新規教育課程認定等の提出期限は平成22年1月25日(月)です。

すでに承認を受けている教育課程の変更(科目の追加・削除、科目名の変更、協会承認の◎印の専任教員の変更等)についても上記提出期限までに申請し、承認を得る必要があります。

◆平成21年度実務教育優秀教員の推薦◆

従前の全国大学実務教育協会は、創立30周年を迎えた平成15年度から本協会が定める資格認定関連科目を担当する教員の表彰制度を設けていましたが、本年4月1日から設立された一般財団法人全国大学実務教育協会においても本事業を継承することになりました。

会員大学長からの平成21年度実務教育優秀教員の推薦受付は平成22年2月15日から3月15日までです。

会員校にはすでにご案内済みですが、多数の推薦をお待ちしています。

◆「ビジネス実務分野における汎用能力とその教育方法」を日本ビジネス実務学会へ調査研究委託◆

最近、大学教育において学士力や社会人基礎力の実現化が重視されています。

これは、大学における実務教育の充実と向上を目的として設立されている本協会の目指す方向でもあります。

本協会では、平成21年度の事業として、日本ビジネス実務学会へ「ビジネス実務分野における汎用能力とその教育方法」の調査研究委託を行いました。

ビジネス実務分野における汎用能力とその教育方法の開発は、関係各方面から注目され、期待されています。

◆「資格等に関するアンケート」及び「資格教育課程等の自己点検チェックリストによる調査」を実施◆

本協会では、現今の大学教育の質が社会から厳しく問われている状況に対応し、会員校の資格教育課程の自己点検活動を一層充実し、資格教育の質的向上をはかっていくことを目的として「資格教育課程等の自己点検チェックリストによる調査」を実施しました。

また、本調査は従前の協会が実施していた教育の実施調査に代えるものであり、本調査と同時に会員校から資格認定等について要望を聴取するために「資格等に関するアンケート」も実施いたしました。

◆企業向けメディアに対する広告掲載◆

本協会が認定している「観光ビジネス実務士」の資格について観光業界に対する認知度を高めるために「週刊トラベルジャーナル」(株)トラベルジャーナル)に次のとおり広告を3回掲載いたします。

第一回 2010年1月4日号

第二回 2010年2月1日号

第三回 2010年3月1日号

また、本協会が認定している22種の資格について産業界に対する認知度を高めるために「日経ビジネス」(日経BP社)に次のとおり広告を2回掲載いたします。

第一回 2010年2月22日号

第二回 2010年3月22日号

◆「会員校協議会」を開催◆

会員校へ本協会の事業等につき説明し、また会員校からの意見を聴取するために設置されている「会員校協議会」が平成21年9月19日アルカディア市ヶ谷において開催されました。

和野内会長から「大学を取り巻く諸問題について」の基調講演が行われ、その後一般財団法人の設立経過と組織等について報告があり、また「資格等に関するアンケート」及び「資格教育等の自己点検チェックリストによる調査」の実施、観光ビジネス実務士資格認定に関する規程等の改正、「情報活用力診断テストRasti」の導入について報告が行われ、出席者から意見の発表がありました。

なお、協議会の閉会后、個別に会員校からの相談に応じるための「会員校相談会」も開催されました。



会員校協議会

◆平成21年度3月期資格認定証の授与スケジュール◆

平成21年度3月期の資格認定証の授与スケジュールは下記のとおりですので、期日厳守をお願いします。(すでに実施済を含む。)

なお、生年月日は原則として平成18年度から西暦で記入することになりました。

平成21年

- 1 10月23日 協会→各大学 資格認定に関する調査表提出依頼発送
- 2 11月5日 各大学→協会 資格認定に関する調査表提出メ切
- 3 調査表受理後 協会→各大学 資格認定に関する申請手続発送
- 4 12月7日 各大学→協会 資格認定証授与予定者名簿等提出、申請料納付メ切
- 5 確認後随時 協会→各大学 申請書類等の受理発送

平成22年

- 6 1月12日 協会→各大学 授与予定者リスト校正依頼等発送
- 7 1月25日 各大学→協会 授与予定者リスト校正結果(訂正連絡票)、単位認定教授会・卒業式日程提出メ切
- 8 確定後随時 各大学→協会 資格認定単位修得確定報告書
※卒業式までに土日を除き5日以内の場合、即日FAX送信してください。
- 9 随 時 協会→各大学 資格認定証発送
- 10 随 時 各大学→協会 資格認定証受領書提出